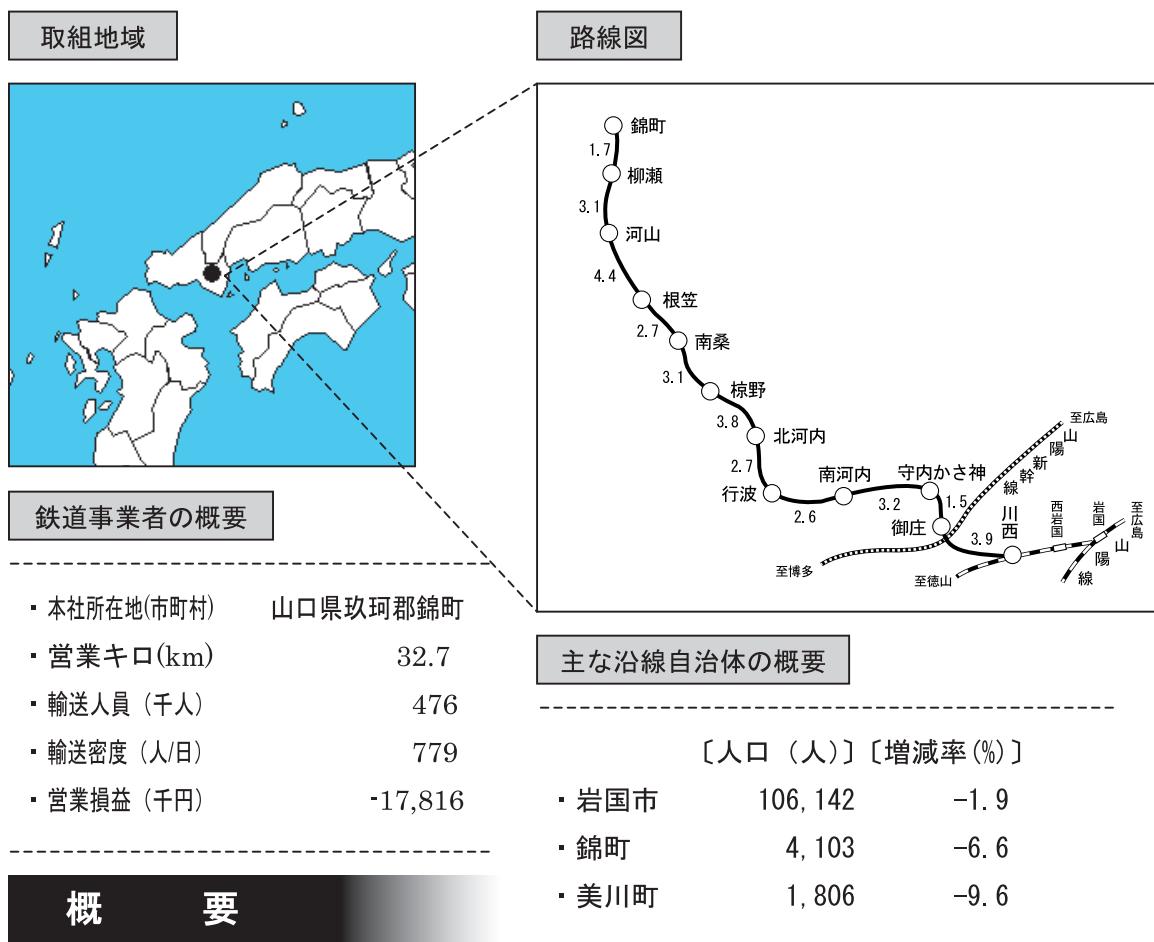


23. トロッコ遊覧車（とことこトレイン）

事業者名

錦川鉄道株式会社



錦川鉄道の終点である錦町が未開通の鉄道敷跡地（一部トンネル）を公園化し、山口県きらら博で不要となった遊覧車を譲り受け、遊覧トロッコの運行を始めた。鉄道利用者への割引と予約席を用意することで誘発効果が図られている。

協力者・関係者

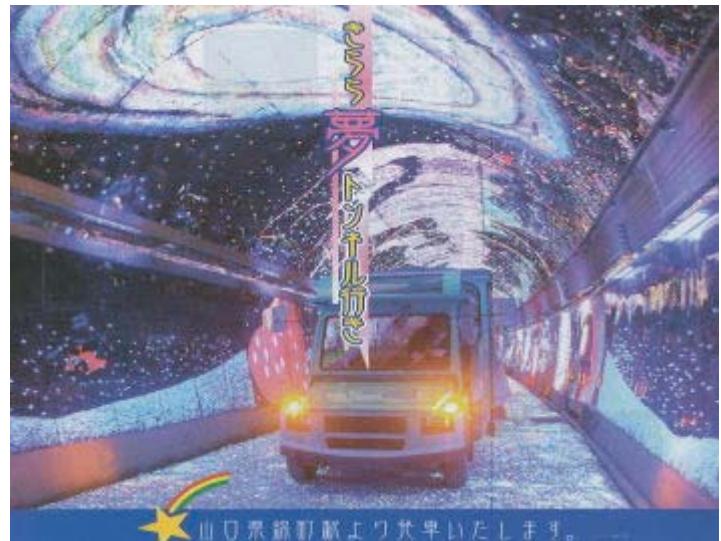
錦町

背景

錦町が地域の憩いの場の確保と、町活性化の目的で公園化した園内に遊覧車を走らせることとした。その波及効果が受けられるように運行委託の要請があり、平成 14 年 7 月から運行を始めた。

内容

- ・ 鉄道利用者のみ予約を受け、遊覧トロッコの座席（100 円割引）を確保している。
- ・ トロッコ遊覧料 大人 600 円 小人 300 円（片道）
- ・ 遊覧車コースは、インフラ部分を町が整備する上下分離方式。



(上)「とことこトレイン」参加者募集の様子。トンネルの中は幻想的な世界が広がっている。

効果

◆平成 11 年 7 月から実施。

- ・ トロッコ収入（雑収入）：利用人員 32,153 人（15 年度実績）
- ・ 誘発効果：平成 15 年度上半期 普通旅客収入 対前年 4.2% 増
(近年の減少率は平均で約 4.1% 程度であることから、誘発効果としては対前年約 8% の增收が図れた。)

成功の理由

- ・ 鉄道利用者に対する優遇措置（予約席の確保・割引料金：大人 100 円、小人 50 円の設定）を図ったこと。
- ・ 平成 15 年 3 月一部トンネル内に「光る石」が取り付けられ、トンネル内部を蛍光石の壁面でライトアップしたことや、のんびりと田舎の風景が楽しめるなどといったことから好評を得ていること。
- ・ 不思議なトンネルを走ることで、テレビ・新聞などマスメディアが取り上げたこと。
- ・ 一般道路への落下防止策や無扉トロッコ車両に扉を設置するなど安全対策を図ったこと。

- ・ 走行路の凹凸を解消するため、アスファルト舗装したことにより、乗り心地も向上させたこと。
- ・ 遊覧車コースを錦町側が整備することにより、鉄道事業者は車両運行のみの経費負担となっていること。

今後の課題

錦川鉄道と遊覧車と錦町の各施設をセットにしたパック券等を設定して增收を図っていく。

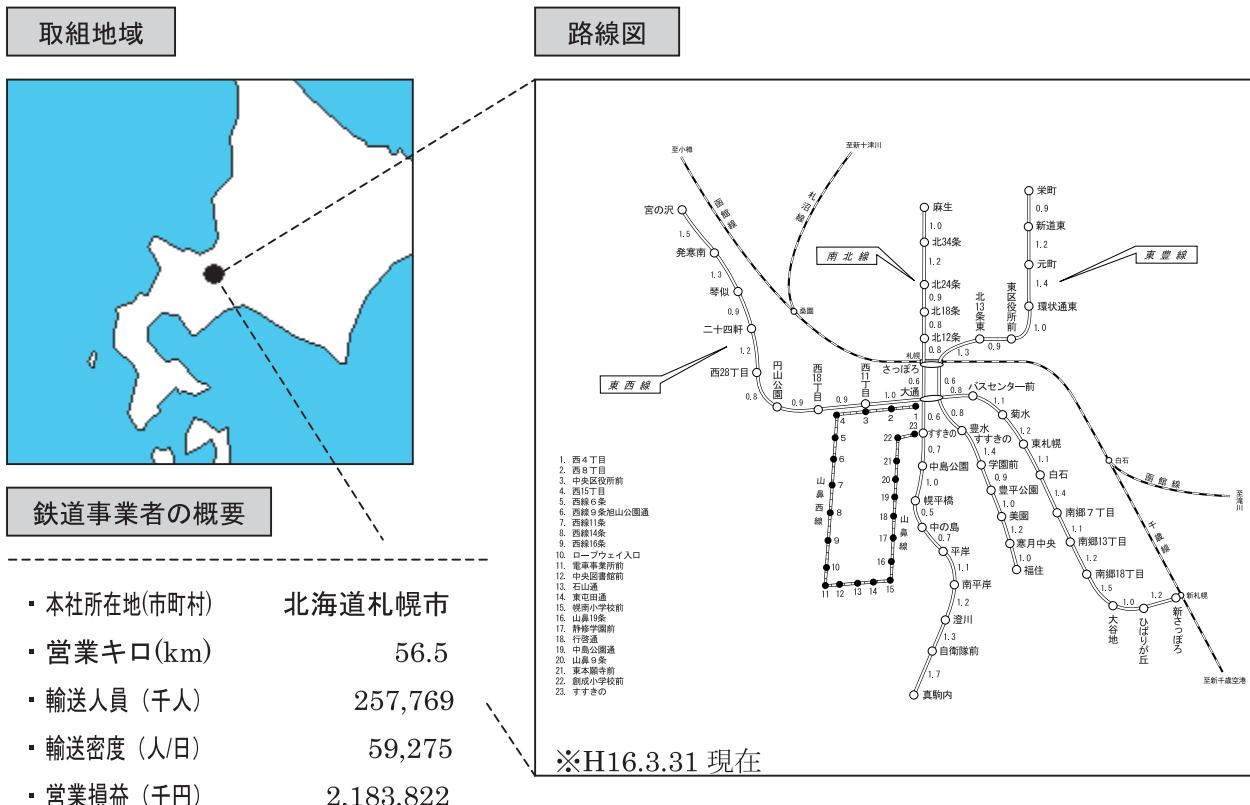
お問い合わせ先

中国運輸局

24. 「ドニチカキップ」・「共通ドニチカきっぷ」

事業者名

札幌市交通局



概要

休日の公共交通利用促進を図るため、
土日限定の地下鉄専用休日1日乗車券
(「ドニチカキップ」) 及び3事業(地
下鉄、路面電車、バス)共通休日1日乗車券(「共通ドニチカキップ」)を実験販売。

協力者・関係者

- ・札幌市

[人口(人)] [増減率(%)]

・札幌市 1,837,901 3.1

- ・ 北海道中央バス(株)
- ・ ジェイ・アール北海道バス(株)
- ・ (株)じょうてつ

背景

- ・ 公共交通に対する関心を高め、その取り巻く環境の理解を図るため、札幌市及び交通事業者が共同して平成14年度から「公共交通利用促進キャンペーン」を実施した。
- ・ そのキャンペーンと連携して、休日の公共交通利用促進を図る目的で、14年9月（「ドニチカキップ」のみ）、15年10月にそれぞれ1日乗車券を実験発売した。



3事業共通（左）と地下鉄専用（右）のドニチカキップ。割引率も高く、好評を得ている。

内容

◆<ドニチカキップ>（地下鉄専用）

- ・ 対象路線：地下鉄
 - ・ 実施時期：平成14年9月（2日間：土日×1回）
平成15年10月（6日間：土日×3回）
 - ・ 発売価格：500円（小児250円）
- ### ◆<共通ドニチカキップ>（3事業共通）
- ・ 対象路線：地下鉄、路面電車、市営バス、北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつバス
 - ・ 実施時期：平成15年10月（2日間：土日×1回）
 - ・ 発売価格：700円（小児350円）

効果

◆<ドニチカキップ>

[平成14年度]

- ・ 発売枚数：土曜日 12, 083枚、日曜日 10, 569枚
- ・ 乗車人員：土曜日（平均比）41, 048人増、日曜日（平均比）10, 630人増

[平成15年度]

- ・ 発売枚数：土曜日 7, 279枚、日曜日 6, 453枚
- ・ 乗車人員：土曜日（前年同月比）13, 712人増、日曜日（前年同月比）8, 382人増

◆<共通ドニチカキップ>

[平成15年度]

- ・ 発売枚数：土曜日 5, 371枚、日曜日 3, 601枚

成功の理由

- ・ 札幌都心部周辺の買い物客、観光客をマイカー等からシフトさせ、利用者を増やす効果が見込める大きな割引率を設定したこと。
- ・ 乗車券の発売概要を記載した「公共交通利用促進キャンペーン」PRポスター及びリーフレットを掲示・配布することについて区役所、地下鉄、JR、バス等の協力が得られたこと。
- ・ 新聞（4大紙）広告の掲出、折込チラシを配布するなどの積極的なPR活動により、利用者に浸透させることができたこと。

今後の課題

- ・ 平成14年、15年の実験発売の結果、増客增收効果が得られたため、「ドニチカキップ」については、平成16年10月頃から通年販売（土日祝利用可）する予定。
- ・ 「共通ドニチカキップ」については、関係者と協議の上、実験を拡大しその効果の検証を行う予定。
- ・ 通年販売する際には、増客增收効果が薄れていく可能性があるため、これまで以上に利用者に浸透・定着させるべく効果的なPR等を行う必要がある。

お問い合わせ先

北海道運輸局

25. 会津ぐるっとカード

事業者名

会津鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	福島県会津若松
・営業キロ(km)	57.4
・輸送人員(千人)	831
・輸送密度(人/日)	1,008
・営業損益(千円)	-216,303

概要

福島県会津地方の広域観光を推進し、地域の活性化を図るとともに、地域の公共交通の活性化につなげる目的で、鉄道事業者とバス事業者の運賃割引を実施し、周辺の観光施設・土産店の割引等を付加したサービスを利用者へ提供する。

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増減率(%)]

・会津若松市	116,023	-1.7
・田島町	13,449	-4.6
・下郷町	7,658	-5.4

協力者・関係者

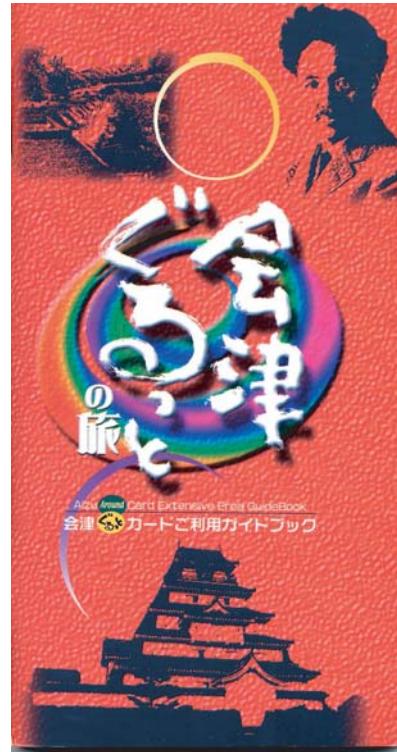
- ・ 会津地域 15 市町村及び観光協会、商工会
- ・ エリア内の観光施設・お土産店
- ・ JR 東日本、会津乗合自動車、磐梯東都バス
- ・ 国土交通省郡山国道事務所

背景

これまで自家用車が主な移動手段であった会津地域の観光を、公共交通事業者の連携により、それぞれの観光地を公共交通機関により一体的に結ぶことにより、新たな観光ルートとして広域的な観光を推進する。

内容

- ・ 会津地域のエリア内 鉄道・バス 2 日間乗り放題
- ・ 規格 クレジットカードサイズ
- ・ 大人 2,600 円 小児 1,300 円
- ・ 発売箇所 JR 東日本(みどりの窓口、びゅうプラザ各支店) JTB 各支店、東武トラベル各支店
- ・ 引換え箇所 会津エリア内の JR 東日本指定駅、会津鉄道指定駅、会津乗合自動車の指定営業所
- ・ 発売箇所で会津ぐるっとカードの引換券を購入し、上記指定箇所で引換える。(ガイドブック付)



(上) 会津ぐるっとカード紹介パンフレット。
広域的な観光ルート整備の推進に一役買っている。

効果

- ・ 平成 15 年 7 月 1 日発売開始・発売開始から 16 年 1 月までの 1 ヶ月平均販売枚数約 600 枚弱(大人及び小児を含む)。
- ・ 多様な広域観光ルートが設定され、観光客の回遊性が高まりつつある。

成功の理由

- ・ JRと民間鉄道、バス事業者の企画乗車券は、全国初の試みであるが、会津エリア内の市町村及び観光業者の協力体制を築くことができたこと。
- ・ 会津地域における交通事業者や行政、観光事業者などからなる「福島県西部広域都市間公共交通活性化プロジェクト委員会」を設置し、会津地域の公共交通と観光振興について検討・協議を行ったこと。またこの結果が着実に実施され、施策として結実していること。
- ・ 検討委員会では運賃収入分の事業者配分及び発売箇所等についても検討・協議が行われ、最終的に各社の合意を得ることが出来たこと。
- ・ 鉄道、バスが2日間乗り放題であることやその設定金額を安くしたことが魅力的であったこと。
- ・ エリア内における電車とバスが一枚のカードで利用可能となったこと等、観光地における交通機関の利便性を向上させたことにより、魅力の向上が図られたこと。

今後の課題

- ・ 対象エリアの拡大や利用期間の設定、電車やバス等交通機関の乗り継ぎ向上を図り、利用者ニーズに応えた施策を展開する。
- ・ 会津ぐるっとカードの発売箇所と引換え箇所が違うために、二度手間になる。
- ・ PRの強化

お問い合わせ先

東北運輸局

26. 子宝の湯クーポン

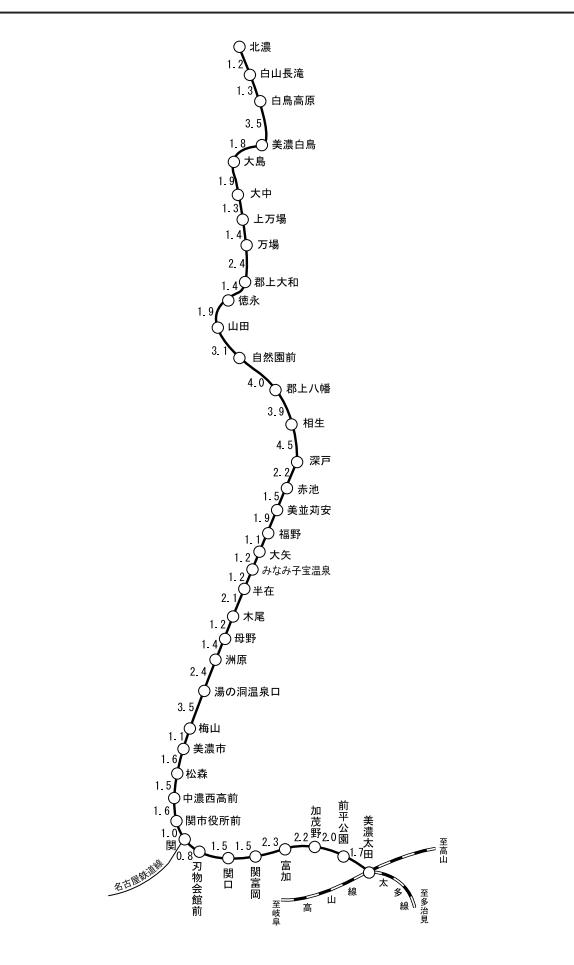
事業者名

長良川鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	岐阜県関市
・営業キロ(km)	72.1
・輸送人員(千人)	1,261
・輸送密度(人/日)	666
・営業損益(千円)	-127,082

概要

美並村営温泉施設「日本まん真ん中温泉子宝の湯」に隣接する「みなみ子宝温泉駅」の開業にあわせ、集客と利用客の少ない昼間帯列車の利用率向上のために「列車を降りて3歩で温泉」というキャッチコピーを使って駅に近いことをアピールするとともに、地元美並村（現郡上市）の協力を得て運賃と入浴料を割り引

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増減率(%)]

・関市	75,125	2.6
・美濃加茂市	47,493	3.7
・美濃市	24,734	-4.3

いたクーポン券を発売した。

協力者・関係者

協力自治体：岐阜県郡上郡美並村
(現郡上市)

背景

利用者の少ない昼間帯列車の利用率向上を図り、增收に資するため。

内容

- ・ 事業形態：鉄道事業法による割引運賃
- ・ 実施場所：沿線有人駅からみなみ子宝温泉駅間
- ・ 対象路線：越美南線全線
- ・ 運賃：(平均割引率)
 - 1枚券 (20. 1%引)
 - 5枚綴回数券 (26. 3%引)
 - 10枚綴回数券 (33. 5%引)
- ・ 入浴料：500円を400円にする (100円引)
- ・ その他：発売当初は1枚券のみであったが、利用客の要望等により5枚綴、10枚綴の回数券を追加発売した。なお、美並村の協力により15年2月1日から3月31日までクーポン利用者の入浴料が無料扱いとなった。現在は、この措置がさらに16年12月31日まで延長されている。

効果

◆輸送人員

- ・ 14年度全体 (14/4~15/3) 5, 956人

[子宝の湯クーポン発売数]

- ・ 1枚券 5, 056枚
- ・ 5枚綴回数券 96冊
- ・ 10枚綴回数券 42冊



(上、下) みなみ子宝温泉駅。利用者も年々増加しており、全国的に有名だ。



- ・ 15年度全体（15／4～16／3） 7,638人

〔子宝の湯クーポン発売数〕

- ・ 1枚券 6,698枚
- ・ 5枚綴り券 82冊
- ・ 10枚綴り券 53冊

◆分析結果（実施前と比して）

- ・ 14年度は企画商品全体の発売額が対前年比で287%の実績となった。
 - ・ 15年度は企画商品全体の発売額が対前年比で106%の実績となった。
 - ・ 15年度は子宝の湯クーポン利用者数が対前年比で128%の実績となった。
- ◆ソフト面での効果：新聞、テレビ、雑誌等で取り上げられ、長良川鉄道の知名度が全国的にアップした。

成功の理由

- ・ 新聞及び沿線市町村の広報誌での報道を依頼したが、これが功を奏していること。（15年1月30日に会社線、太多線、高山線沿線地域に「長良川鉄道を利用して入場すると入浴料が無料になる」との新聞折込を入れたところ、15年2月1日以降は鉄道利用者が今までの約3倍に増加している。）
- ・ 当初はなかった、5枚綴り、10枚綴り回数券を企画するなど、利用者の声を拾い上げることによって、リピーターの獲得に努めていること。
- ・ 温泉を所有する美並村が、経費負担協力をを行い、鉄道利用者増加の側面的な支援を行っていること。
- ・ 本施策の検討については、美並村（現郡上市）と鉄道事業者との間で2ヶ月程度の準備期間の中で会議を行い、運賃、入浴料の割引額及び発売駅等の企画立案につなげていること。

今後の課題

- ・ 当初、温泉利用脚の4%を鉄道利用者数と見込んでいたが、15年1月までは月平均で2.3%の実績であった。2月以降は6%台半ばに増加している。今後とも広報活動に努め、鉄道利用者増加に結び付けていく。
- ・ 美並村の協力（経費負担）により、平成16年2月29日までは鉄道利用者は入浴料無料。美並村が町村合併で平成16年3月1日から郡上市となったが、入浴料無料の扱いを平成16年12月31日まで延長。

お問い合わせ先

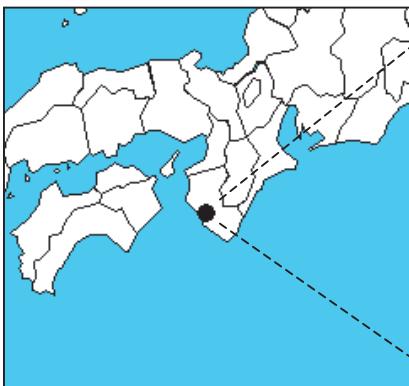
中部運輸局

27. 「白浜ぐるりんバス」「たじまぐるりんバス」

事業者名

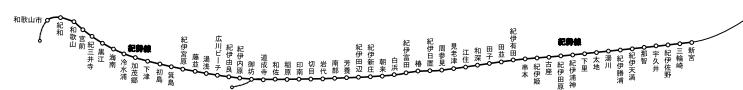
西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）

取組地域



路線図

※JR 西日本紀勢線（対象駅は白浜駅）



鉄道事業者の概要

- ・本社所在地(市町村) 大阪府大阪市
- ・営業キロ(km) 5,078.3
- ・輸送人員(千人) 1,772,709
- ・輸送密度(人/日) 27,878
- ・営業損益(千円) 92,689,862

主な沿線自治体の概要

〔人口(人)〕〔増減率(%)〕

・白浜町 19,933 -0.7

概要

白浜や但馬地区の観光施設の入場券、現地路線バス乗り放題、往復のJR特急券をセットにした特別企画乗車券を設定した。

協力者・関係者

- ・白浜地区および但馬地区の観光施設
- ・バス会社

背景

高速道路の整備等により、特急列車の利用は減少傾向にあり、主要観光施設の入場券、現地路線バス乗り放題をセットにしたお得なきっぷを設定し、観光需要の誘発、JRの利用促進を図った。

内容

◆白浜ぐるりんパス

- 商品内容：12観光施設入場券+明光バス乗り放題+JR往復特急指定席
- 設定期間：平成15年3月21日～6月29日（発売は3/14～）平成15年7月21日～16年3月31日（発売も7/21～）
- 発売額：12,300円（大阪市内発着）

◆たじまぐるりんパス

- 商品内容：21観光施設入場券+全但バス乗り放題+JR往復特急指定席
- 設定期間：平成15年7月19日～10月31日（発売は7/1～）
- 発売額：12,000円（大阪市内発着）



（上）観光協会ホームページより。多くの観光施設に入館が可能な上、バスも乗り放題だ。

効果

◆発売開始以来の利用実績（16年2月末時点）

- 白浜ぐるりんパス：4万名弱
- たじまぐるりんパス：2千名強

成功の理由

- バスを購入すれば、現地のほとんどの観光施設やバスを利用できるという利便性や値ごろ感が受け入れられていること。
- 白浜地区への観光誘客を図るために、訴求力のある魅力的な商品を設定したいという西日本鉄道旅客鉄道(株)からの提案に対し、多くの観光施設や土産物店が加盟している地元観光協会や商工会からの賛同があり、白浜地区全体としての協力を得ながら、個別の観光

施設やバス会社との協議を行うことができたこと。

今後の課題

- ・ 現地観光施設の充実
- ・ 現地での案内体制の整備 等

お問い合わせ先

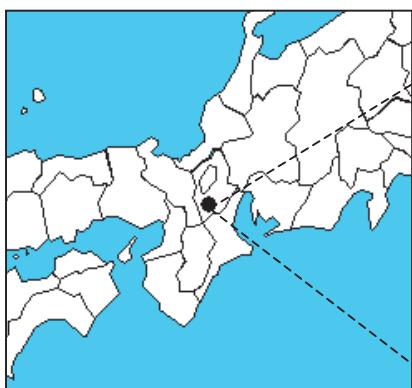
近畿運輸局

28. 焼きものによる企画キップ

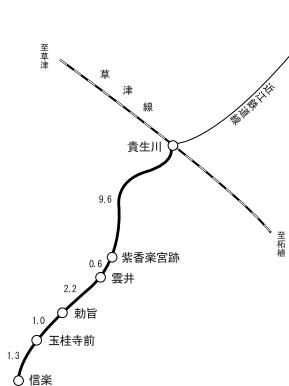
事業者名

信楽高原鐵道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	滋賀県甲賀郡信楽町
・営業キロ(km)	14.7
・輸送人員(千人)	575
・輸送密度(人/日)	1,269
・営業損益(千円)	-48,707

主な沿線自治体の概要

	[人口(人)]	[増減率(%)]
・水口町	36,819	4.2
・信楽町	14,229	-2.3

概要

信楽焼の産地を活かし、陶器によるキップを作成し、昭和63年から販売を始めた。以降毎年販売を続け、今では顧客もでき、安定的な収益事業となっている。

協力者・関係者

滋賀県(販売促進の面)

背景

経営基盤の弱い第3セクターとして発足したことから、安定的な収入が求められていた。冬場、観光客が減少する事から増収対策が必要であった。

内 容

昭和63年陶器によるキップを考案し、翌年の干支である午（うま）と一体となったデザインのキップを販売したところ人気となり、以降干支を替え毎年販売している。干支キップ一枚で親子往復のキップとなっている。今では七夕、ひな祭り等の季節行事を信楽焼のシンボルであるタヌキをデザインとしたタヌキキップも併せて販売している。

効 果

企画キップによる年間輸送人員
27,000人

成功の理由

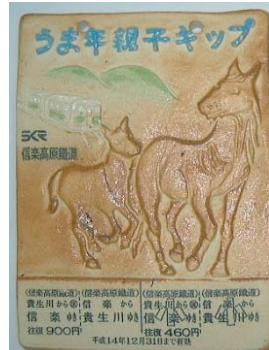
- 陶器による初めてのキップとして、マスコミに取り上げられ、全国にPRできたこと。
- 干支キップとしたため、一度購入した者が毎年更新されるキップを購入することとなつたことから、安定的な販路先となったこと。
- キップマニア等顧客リストを持つことができ、ダイレクトメールによる販売促進活動等新たな取組が可能となったこと。

今後の課題

最盛期に比べ販売数が減少してきたことから、種類の多様化等による販売促進活動が必要。

お問い合わせ先

近畿運輸局

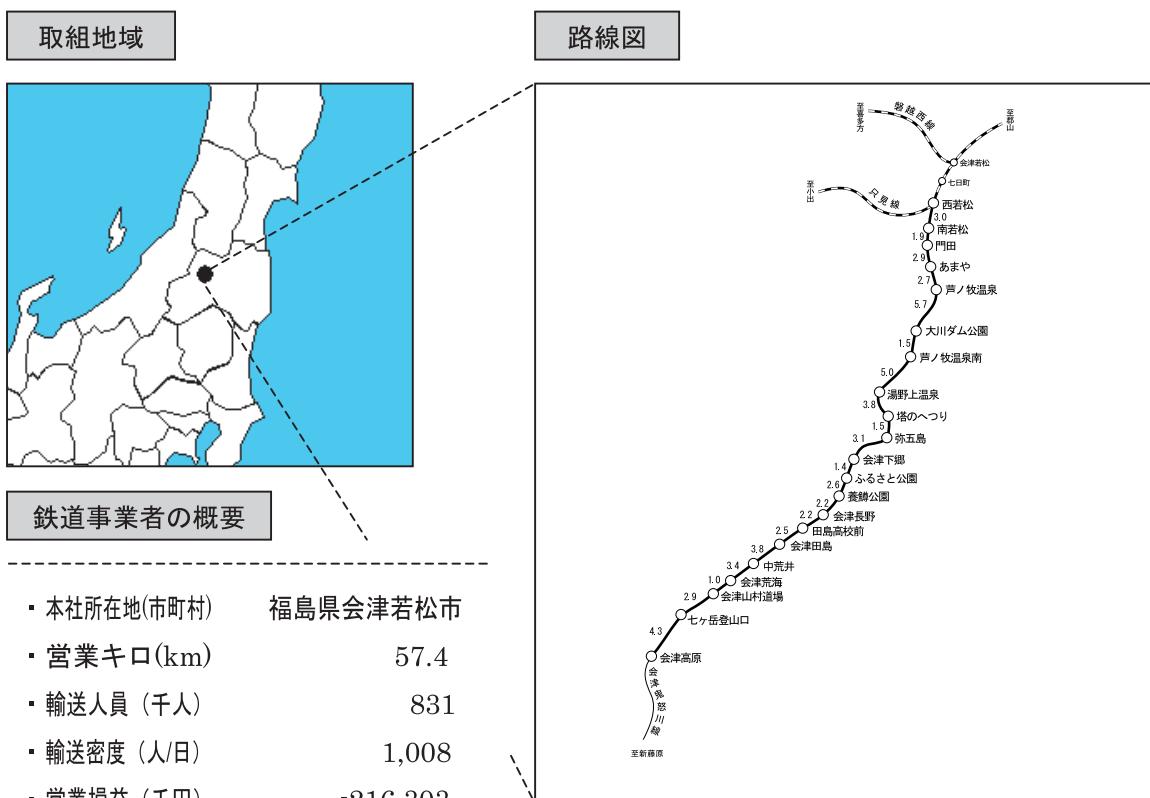


干支キップ（左）と、来る福キップ（右）。企画キップの先駆けであり、リピーター購入者も多い。

29. 会津鉄道車両のJR磐越西線喜多方駅への直通乗入れ

事業者名

会津鉄道株式会社



概要

福島県会津地域の広域観光を推進し、公共交通機関の連携を図る目的で、「蔵とラーメンの街喜多方」へ会津鉄道車両が乗り入れをする。

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増減率(%)]

・会津若松市	116,023	-1.7
・田島町	13,449	-4.6
・下郷町	7,658	-5.4

協力者・関係者

- ・東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)

- ・ 福島県会津線等対策協議会
- ・ あいづふるさと市町村圏協議会
- ・ 全会津観光連盟

背景

平成3年から会津28市町村の強い要望であり、会津地域の利用者の受け入れ体制が整備されたことにより、乗り入れが実現した。

内容

- ・ 平成15年10月4日から、会津鉄道特急型車両「AIZUマウントエキスプレス」号を土・休日1往復、会津線会津田島駅～JR磐越西線喜多方駅間運行する。
- ・ 乗り入れ周知首都圏キャンペーン（東武線浅草、北千住、柏、草加駅）の実施
- ・ 会津線車内、駅においてJA会津みなみの協力を得て、旬の野菜等のワンコイン販売
- ・ 会津線の車窓から見える風景を中心に車窓観察をしたパンフレット「ナビィ」の作成配付
- ・ 駅貼りポスター、車内中吊り（東武線内掲出）の作成



（上）「AIZUマウントエキスプレス」号。車内の旬の野菜の販売など、様々な工夫、努力をおこなっている。

効果

◆平成15年10月～平成16年1月実績及び対前年比（運行日37日 定員120名）

- ・ 会津田島→喜多方 15年度 2,068人
14年度 1,849人
219人増
- ・ 喜多方→会津田島 15年度 2,160人
14年度 1,865人
295人増

※参考 喜多方市観光客入れ込み数（10～12月） 19,000人増加

成功の理由

- ・ 福島県、会津若松市、喜多方市等会津広域観光団体、JRの理解と協力を得ることができたこと。
- ・ 様々な集客努力を行ったことが功を奏したこと。
 - 例) 旬の野菜等のワンコイン販売等のソフト施策と連携したこと。
 - 例) パンフレットや駅張りポスターによりイベントの周知を徹底していること。
- ・ 直通運転については、技術的には既にクリアされていたため、特に問題はなかったこと。
- ・ 地元市町村の強い要望のほか、観光地である喜多方の街並みの整備等ハード面の整備が進んだことにより観光客の受け入れ体制が整ったこと。
- ・ あいづふるさと市町村圏協議会が窓口となり各団体等との調整を行い、喜多方直通乗り入れに向け協議が進められたこと。

今後の課題

- ・ 通年の乗入れの要望。
- ・ 利用者の受け入れ体制の強化。

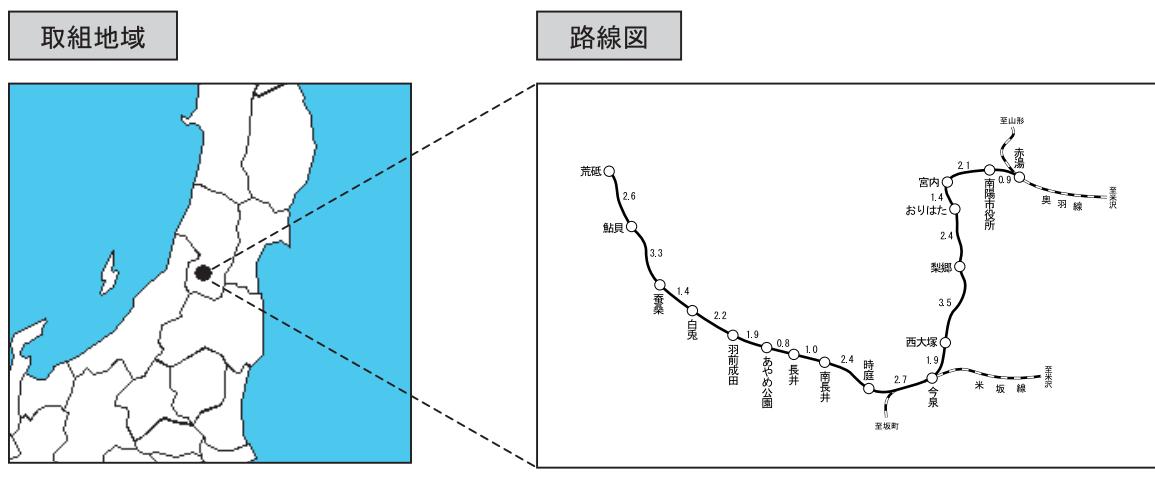
お問い合わせ先

東北運輸局

30. Netトレイン

事業者名

山形鉄道株式会社



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	山形県長井市
・営業キロ(km)	30.5
・輸送人員(千人)	917
・輸送密度(人/日)	856
・営業損益(千円)	-136,002

主な沿線自治体の概要

	[人口(人)]	[増減率(%)]
・南陽市	35,937	-2.5
・長井市	31,589	-2.9
・白鷹町	17,152	-4.3

概要

列車内で無線LANによるインターネット接続サービスを提供する。

協力者・関係者

- ・長井村塾 (提案及び技術提供)
- ・株式会社メルコ (機器の提供)

背景

地域の町おこしの一環として計画されている市内中心部のネットワーク構築事業に協力するため、全国でも事例の少ない列車で移動しながらインターネット接続サービスを開始した。

内 容

平成15年6月導入。列車に乗ったお客様が無料でメールチェックやインターネットの接続が行える。所有している列車8両の内5両に機器を設置しており、外部接続は、A i r H " 128Kbps を使用し平均 40Kbps の通信速度が得られる。



(上) 車内でインターネットを使用できる環境を整備。

効 果

利用客は少ないが、地元テレビ及び新聞に取り上げられたほか、インターネット等の記事の取材があったことにより、話題提供が図られた。

成功の理由

- ・ 協賛スポンサーを募り、地元企業14社から広告を得ることができた。
- ・ 運営面を含めた費用は広告掲載料で採算がとれていることからコスト減が図られたこと。
- ・ 公衆無線LANサービスの導入にあたり、車体広告を行うことで協力会社から機器の無償提供を受ける等、設備投資額が低コストで実現できたこと。
- ・ 無線LAN設備の取り付けにあたっては、既存車両の設備変更は必要ないものであったこと。

今後の課題

- ・ 地域のまちおこし事業に連携した事業であり、更にスムーズな沿線情報の提供を図っていく。
- ・ 宣伝PRを強化し、利用客の増加を図っていく。

お問い合わせ先

東北運輸局

31. 女性専用車両

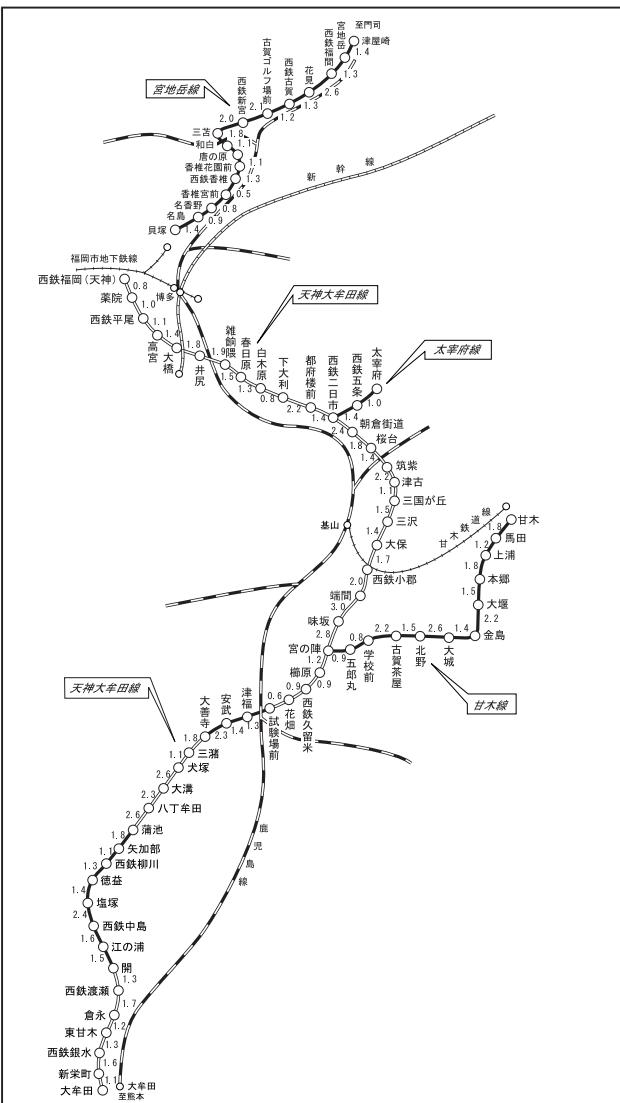
事業者名

西日本鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	福岡県福岡市
・営業キロ(km)	115.9
・輸送人員(千人)	108,425
・輸送密度(人/日)	41,513
・営業損益(千円)	3,570,297

主な沿線自治体の概要

[人口(人)]		[増減率(%)]
・福岡市	1,315,007	4.0
・久留米市	235,383	1.0
・大牟田市	137,700	-4.0

概要

天神大牟田線の朝ラッシュ時に特急・快急・急行の17列車の最後部1両を女性専用車両とした。

協力者・関係者

九州運輸局

背景

快適な利用しやすい鉄道を目指し、痴漢などの車内犯罪防止の観点から、関東・関西の鉄道事業者で「女性専用車両」の導入が進んでおり、利用者からの要望が寄せられていた。他社の導入事例からみても概ね好評を得ており、社会的認知も進んだと判断し、九州では初めて導入することとした。



(上) 西日本鉄道(株)HPより。利用者アンケートを行うことにより、女性専用車両のニーズを把握している。

内容

導入路線：天神大牟田線（上り）

導入時間：7：45～9：19の間に福岡（天神）駅に到着する「特急」「快急」「急行」

導入列車：17列車

導入箇所：最後部1両

効果

◆女性専用車両試験導入アンケートの結果より

- ・ 実施期間：平成15年8月11日～9月15日
- ・ 調査対象：天神大牟田線の利用者
- ・ 調査方法：

- (1) 福岡（天神）駅でアンケート用紙を配布
- (2) 電車局発行の無料情報誌「Com-pass（コンパス）」にアンケート用紙を封入
配布数・回収数 配布数：35,000枚 回収数：2,246枚（回収率6.4%）

◆アンケート結果

- ①回答者の男女比：男性31% 女性69%
- ②女性専用車両に賛成ですか（全体）：
 - ・賛成80% 反対11% わからない9%
 - i) 女性専用車両に賛成ですか（男性）：
 - ・賛成65% 反対24% わからない11%
 - ii) 女性専用車両に賛成ですか（女性）：
 - ・賛成85% 反対6% わからない9%
- ③女性専用車両に望ましい時間帯は：
 - ・朝ラッシュ51% タラッシュ21% 深夜17% 終日8%
- ④女性専用車両導入に伴い、一般車両の混雑は増加したと思いますか？：
 - ・そう思う11% そう思わない56% わからない33%
- ⑤女性専用車両を利用していますか？：
 - ・いつも利用37% ときどき利用18% ほとんど利用しない17% 利用しない28%

成功の理由

- ・ 試行期間の後、利用者アンケートを行うことにより、女性専用車両のニーズを的確に把握したことにより、正式導入へつなげることができたこと。

【把握したニーズの例】

- ①全体の約8割の方々が「女性専用車両」に賛成であること。
 - ②朝ラッシュ時の「女性専用車両」に対するニーズが高いこと。
 - ③試行期間中、利用者の皆様に大きな混乱は見受けられず、「女性専用車両」が定着したと判断できること。
- ・ 女性専用対象列車が停車する各駅のホームに、女性専用車両の乗車口を示すステッカーを添付し、サービスの向上を図っていること。

今後の課題

今後については、朝ラッシュ時以外や下り列車への導入について、利用者の反応を勘案しつつ検討する。

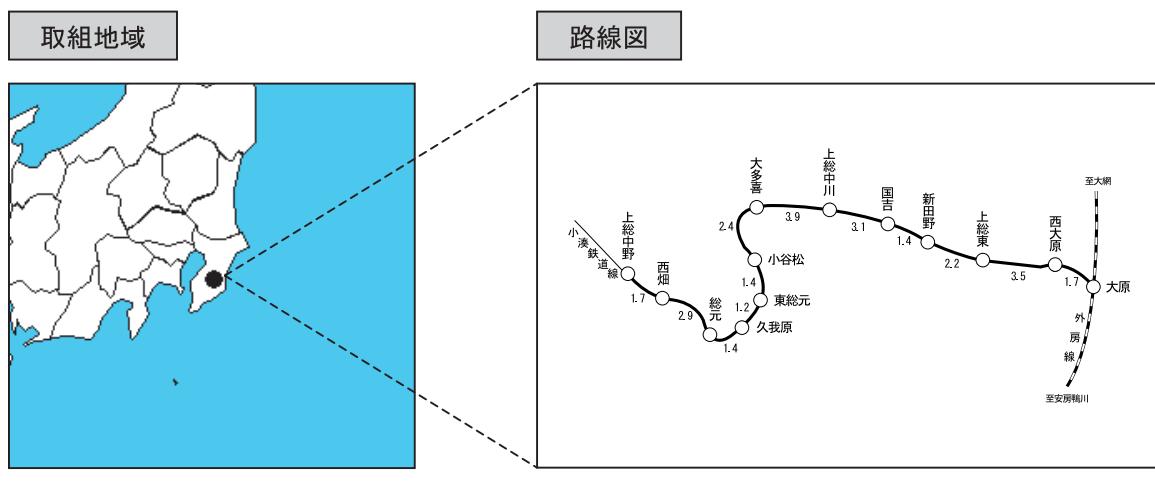
お問い合わせ先

九州運輸局

32. 花の四季彩ルート化計画（菜の花植栽）

事 業 者 名

いすみ鉄道株式会社



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	千葉県夷隅郡大多喜町
・営業キロ(km)	26.8
・輸送人員(千人)	539
・輸送密度(人/日)	689
・営業損益(千円)	-178,695

[人口(人)] [増減率(%)]

・大原町	20,849	-2.3
・大多喜町	11,783	-4.6

概 要

いすみ鉄道株式会社では、平成 12 年度から毎年鉄道沿線に花の四季彩ルート化計画を実施している。これは、鉄道利用客の増加と沿線のイメージアップを図るため、四季折々の花を鉄道沿線に咲かせる計画の一環として、沿線各町のいすみ鉄道友の会、夷隅地区さわやかハートちば推進協議会をはじめ各種団体の協力を得て実施しているもの。

協力者・関係者

- ・平成 15 年度 草刈・播種作業実績

- ・ボランティア団体等：つくしの会、若草会、新場会、つがる会、新田消防団員、西友会、大多喜町森宮区有志、大多喜町内小学生
- ・後援団体等：大原町いすみ鉄道友の会、夷隅町いすみ鉄道対策協議会、大多喜町いすみ鉄道鉄道友の会
- ・自治体等：千葉県夷隅支庁職員、大原町、夷隅町、大多喜町各職員
- ・鉄道事業者：いすみ鉄道社員

背景

乗車人員の減少に歯止めをかけるため、いすみ鉄道と夷隅郡市1市5町で構成するいすみ鉄道対策協議会は、全線の線路沿い鉄道用地に県花となっている菜の花の種をまくことにした。なお、車両のボディーカラーにもなっている菜の花のイメージを定着し、利用客の増加を目指している。



(上) 菜の花の中を走るいすみ鉄道。この菜の花は、ボランティアらが撒いたものだ。

内容

◆平成15年度菜の花植栽事業

- ・対象路線：いすみ鉄道全線
- ・作業実績：延長合計 14,600 m 面積合計 32,030 m²
- ・作業人数：草刈 160人 播種 51人 合計 211人
- ・作業時期：草刈—8月中旬～9月下旬
- ・播種—10月上旬～10月中旬
- ・開花時期：3月上旬～4月上旬

効果

- ・乗車人員が年々減少する中、平成14年度の3月の普通乗車人員は、対前年比120.8%、約2千人の増となったほか、平成15年度の普通乗車人員は、平成8年の増加以来年間を通して対前年比で104.8%、約7千人の増加となるなど、いすみ鉄道沿線の菜の花の知名度が上がったことによる集客効果がある。
- ・沿線3町が広報誌等を通じて呼びかける他、地元の鉄道存続という趣旨から自主的に草刈り等を行なう団体もあり、うち何名かの個人も含まれている状況である。

成功の理由

- ・ 公共放送を含め、多くのメディアに紹介されたこと。
- ・ ホームページへの掲載等によるPRも行っていること。
- ・ 草刈り、種蒔、種取等へのボランティア団体の参画については、12年度の計画当初より、いすみ鉄道対策協議会を通じ、各団体に働きかけを行っていること。

今後の課題

◆今後の計画

- ・ 開花時期に向けた、より積極的なPR活動の実施（ホームページへの掲載、旅行代理店との連携）
- ・ 開花時期にイベント列車・ハイキングの実施等

◆今後の課題

- ・ 沿線に咲いた菜の花をどのようにして多くのメディアに取り上げてもらい、多くの方に知ってもらうか、そこからどのようにして有名観光スポットに成りえるのか。
- ・ 車で来る観光客にどのようにしたら乗車してもらえるかといった「集客」について、どのような施策を展開するかが課題。
- ・ 厳しい経営状況により経営改善策として人員縮減を図っており加えて社員の高齢化から、草刈等作業実施にあたり、社員一人ひとりの負担が過大になっており、今後の検討が必要。
- ・ 菜の花の種は開花後の枯れた菜の花から採取しているが十分採取することができず、かつ、年を追うごとに劣化してしまうことから、播種の際には種不足を生じてしまう。種は価格が高く、大量購入は困難であるので、菜の花の種の十分な確保が課題。

お問い合わせ先

関東運輸局

33. 使用済み定期券を利用したエコベンチの製作

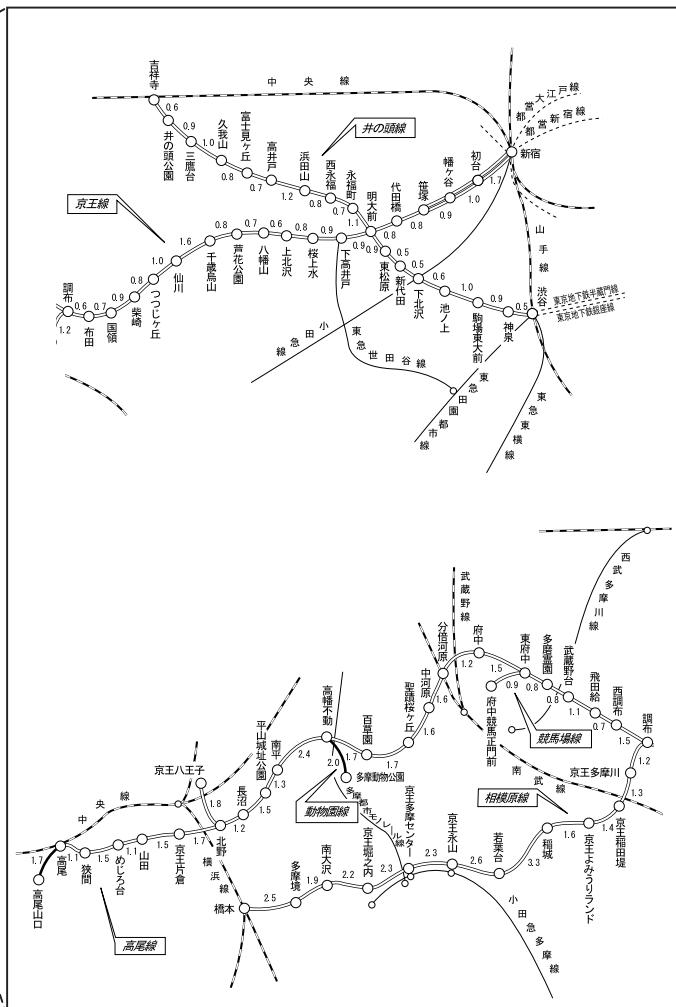
事業者名

京王電鉄株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	東京都多摩市
・営業キロ(km)	84.7
・輸送人員(千人)	591,376
・輸送密度(人/日)	227,423
・営業損益(千円)	18,206,889

概要

京王線・井の頭線で使用済みとなつた定期券をベンチの芯材に再生利用。

協力者・関係者

中央化学株式会社との共同開発

背景

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増減率(%)]

・世田谷区	794,041	3.2
・新宿区	267,839	2.1
・渋谷区	192,968	5.1

以前から使用済みとなった定期券を社員の名刺に、切符をトイレットペーパーにするなど、リサイクル活動に取り組んできた。これまで使用してきた木製のベンチが老朽化した際、使用済みの定期券をベンチの材料に使えないかという社員の発想からエコベンチを開発した。



(上) 定期券などから作られたエコベンチ。
コストも安く、耐久性も抜群だ。

内 容

- ・ 対象路線：京王線・井の頭線 54 駅 400 台（2003 年度末）
- ・ 設置時期：2000（平成 12）年 1 月～
- ・ 価格：80,000 円／台
- ・ サイズ等：1,600mm（幅）×610mm（奥行き）×750mm（高さ）・約 21kg／台
- ・ 製作方法：使用済みとなった定期券の印刷塗料や裏面の磁気膜を植物性の薬品で漂白、粒状に加工した後、ベンチの芯材部分の材料に 20% 混合し成形する。なお、陽にあたつても変色しにくいように、表面には UV 加工を施している。
- ・ 使用量ベンチ 1 基あたり約 1,000 枚（約 1.4kg）の使用済み定期券を使用。⇒20% 相当の芯材部分の材料となる。また、使用済み定期券以外にも、使用済み食品トレーなど廃プラスティックを使用。
- ・ その他：日本で初の取組

効 果

- ・ 従来の木製ベンチと比較して約 1 割のコストダウン。
- ・ 強度は従来の木製ベンチとほぼ同じであるほか、万が一、破損した場合でも再度リサイクルが可能。
- ・ リサイクル可能であるため、半永久的に使用可能（ベンチ表面の UV 塗装などは状況に応じて実施）
- ・ テレビや新聞で紹介されることで、環境への取組の P R 効果あり。



(左上) 定期券から→(右上) 塗料をはがし→(下) エコベンチ材料へ。

成功の理由

- ・ 従来型の木製ベンチと比べ、コストダウンや持久性の向上などが可能になったことなど、環境面及びコスト面での持続可能な対策を実現したこと。
- ・ 使用済み定期券の回収、加工、製品化に至る過程の確立を含め、京王電鉄と中央化学株式会社による共同開発が行なわれたこと。

今後の課題

- ・ 課題：コストダウンの検討
- ・ 今後の設置計画：従来の木製ベンチの寿命（約10年）にあわせて順次設置予定。

お問い合わせ先

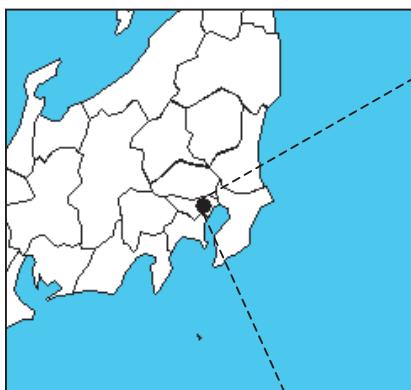
関東運輸局

34. 巡回清掃専門チーム「スマイルアップ・クルー」

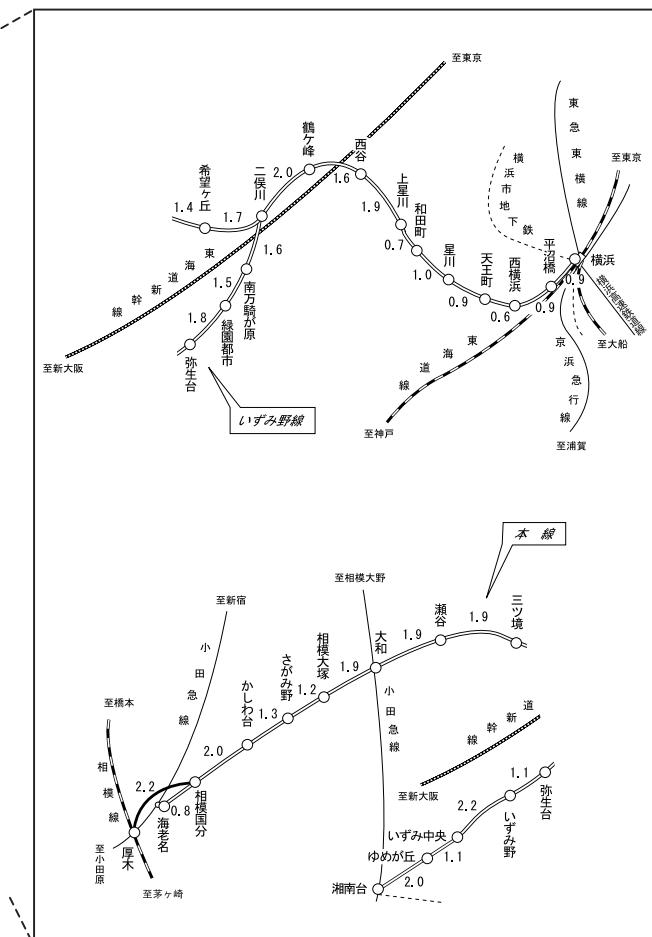
事業者名

相模鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	神奈川県横浜市
・営業キロ(km)	35.9
・輸送人員(千人)	227,902
・輸送密度(人/日)	201,868
・営業損益(千円)	6,673,861

概要

平成15年6月より従来の駅係員の清掃に加え、16名からなる巡回清掃専門チームを編成し、列車内やホーム、コンコースなどの清掃を行っている。また、7月からは駅トイレを巡回して清掃を行う専門チーム(16名)も新規に編成し、利用者満足度の向上を図っている。

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増減率(%)]

・横浜市	3,466,875	4.3
・大和市	214,326	3.9
・海老名市	119,110	3.7

協力者・関係者

相鉄企業（株）（関連事業会社）

背景

平成14年12月より、運輸事業本部を挙げて「お客様第一主義」および「沿線価値の向上」を目指し、「そうてつスマイルアップ運動」と称した運動を展開し、接遇向上、バリアフリー化を推進している。従来より利用者から鉄道施設の清掃・管理を望む声が多く寄せられており、同運動の一環として編成し取り組んだもの。



（上）スマイルアップクルーの作業の様子。利用者の期待に応えるべく、サービスの向上を図っている。

内容

- ・列車内、ホーム、コンコース担当：17:30～21:30、日・祝は9:00～16:00に、2班6名でホームやコンコースを清掃するほか、移動中の列車内においても空缶や新聞紙など大きなゴミを清掃し、常に快適な空間の提供に努めている。
- ・駅トイレ担当：
毎日9時～22時までの間、全駅のトイレを巡回清掃するもので、特に乗降の多い横浜駅は終電後深夜に、二俣川、大和、海老名の各駅は朝ラッシュ前にも清掃を行い、早朝からきれいなトイレを利用できるよう努めている。
- ・利用者から問合わせがあった場合、不案内な利用者がいる場合には、清掃業務を中断し、案内等を優先して行っている。

効果

- ・駅務係が行う通常の清掃と相乗効果をもたらし、鉄道施設の美化が強化され、施設の清掃状況に関する意見が減ったこと。
- ・斬新なクルーの業務への取組み姿勢が、駅務員の良い刺激となり、同運動に取組む意欲

の高揚につながっていること。

- ・ クルーは清掃員のイメージとは異なる制服を着用しているため、非常に目立ち、PR効果も大きなものとなっていること。

成功の理由

- ・ 「そうてつスマイルアップ運動」の趣旨を徹底してスマイルアップクルーに理解させたこと。
- ・ 利用者の視線を意識して清掃業務を行い、利用者の立場に立った案内等を行うことが業務であり、単に清掃だけ行えばよいというものではないことを意識づけたこと。
- ・ 詳細なマニュアルを作成し、クルーに徹底したこと。また、クルーの意見を取り入れ、マニュアルの継続的な向上を図っていること。
- ・ 鉄道業以外の施設に清掃見学に行ったり、利用者からの意見をクルーにフィードバックする等、常に教育・指導・改善を行っていること。
- ・ 従来の清掃員とはまったく異なるイメージの制服を着用させたことにより、業務に対する意欲や誇りが生じたこと。

今後の課題

- ・ 限られた予算内で、作業効率を高めること。
- ・ クルーのモチベーションの維持をはじめ、接遇技術の向上。

お問い合わせ先

関東運輸局

ベス ト プ ラ ク テ ィ ス 集
～鉄道を元気にする34の取組～

平成16年10月

発 行 国 土 交 通 省 鉄 道 局 鉄 道 企 画 室
〒100-8918 東京都千代田区霞が関二丁目一番三号
TEL : 03 (5253) 8526
FAX : 03 (5253) 1633



信楽高原鐵道タヌキキップ。※P94「焼きものによる企画キップ」参照。